

令和3年度第2回高知県食育連携推進協議会

日時：令和4年2月18日（金）午後2時～午後4時

場所：高知県立県民文化ホール 1階 第11多目的室

会次第

1 開 会

2 議 事

（1）第3期高知県食育推進計画進捗状況について

- ・プロセス指標一覧 <資料1>
- ・各担当課報告の進捗状況 <資料2>
- ・各委員報告の進捗状況 <資料3>
- ・当初計画一覧（第1回資料） <参考資料1>

（2）その他

- ・令和3年度「食育月間」等の取組実績一覧 <参考資料2>

3 閉 会

令和3年度第2回食育連携推進協議会 出席者名簿

委員

分野		所属・職名	氏名(敬称略)	備考
消費者			南 まりな	
生産者 事業者	生産者	高知県農村女性リーダーネットワーク 副会長	丸田 奈都美	
	流通業者	高知県農業協同組合 総括本部 組織人事部 部長	大坪 一彦	欠席
	販売者	株式会社サニーマート 営業企画部 地域交流	有光 みちよ	
地域食育活動関係者		高知県食生活改善推進協議会 会長	西村 富美子 (代理) 加藤良子	欠席
		NPO法人地域サポートの会さわやか高知 理事長	三谷 英子	
		公益社団法人高知県栄養士会 会長	新谷 美智	
教育・学校関係者		高知縣市町村教育委員会連合会 事務局長 (南国市教育委員会 学校教育課 教育次長 兼 学校教育課長)	伊藤 和幸	
		高知県学校栄養士会 会長	掛水 和美	
		高知県保幼小中高PTA連合体連絡協議会 副会長	齊藤 雄也	欠席
		高知県保育士会 理事	宮 恭子	欠席
学識経験者		高知県立大学健康栄養学部 教授	稲井 玲子	

任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日

担当課

部局名等	課名	職名	氏名	備考
健康政策部	薬務衛生課	主査	森田 春花	
農業振興部	農産物マーケティング 戦略課	チーフ(6次産業化担当)	門田 香里	
水産振興部	漁業振興課	チーフ(内水面振興担当)	青野 怜史	
		主事	大野 太暉	
教育委員会 事務局	幼保支援課	主任指導主事	岡上 里香	
	生涯学習課	主任社会教育主事	山口 絵里奈	
	保健体育課	チーフ(食育・学校給食・ 保健担当)	北村 加菜	
健康政策部	健康長寿政策課 (事務局)	課長	濱田 仁	
		保健推進監	中島 信恵	
		よさこい健康プラン21推進 室チーフ	吉松 恵	
		主幹	箭野 しづこ	

高知県食育連携推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 本県における食育の推進を図るため、高知県食育連携推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 協議会は、次の事項について協議するものとする。

- (1) 食に関する関係団体等との連携に関すること
- (2) 食育推進計画の推進に関すること
- (3) その他食育の推進に関する必要な事項

(委員)

第3条 協議会の委員は、消費者及び生産者・事業者、地域食育活動関係者、教育・学校関係者、学識経験者をもって構成し、知事が委嘱する。

(組織)

第4条 協議会は、委員12名以内で組織する。

2 協議会には、専門部会を置き、協議することができる。

- (1) 専門部会の委員は、会長が指名して決定する。
- (2) 専門部会は、協議に必要があると認める場合には、必要に応じて委員の出席を求め、助言及び意見を聞くことができる。
- (3) 専門部会で協議し、調整した事項は、協議会へ報告すること。

(会長及び副会長)

第5条 協議会には、会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、協議会の会務を統括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。
- 4 専門部会には、会長の指名により部会長1名を置く。
- 5 部会長は、専門部会の会務を統括し、専門部会を代表する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年間とする。

- 2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は再任することができる。

(会議)

第7条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2の出席により成立するものとする。
- 3 専門部会の会議は、必要に応じて部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 4 委員はやむを得ない事情により会議に出席できない場合は、会長または部会長の了解を得て、代理人を会議に出席させることができる。

(意見の聴取)

第8条 協議会は、必要に応じて助言及び意見を得るため委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、高知県健康政策部健康長寿政策課で行う。

(雑則)

第10条 この要綱で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

- 1 この要綱は、平成19年11月1日から施行する。
- 2 平成18年6月28日から施行の高知県食育推進協議会設置要綱は廃止する。

附則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成24年3月13日から施行する。

附則

この要綱は、平成24年8月29日から施行する。

第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進

施策目標（平成35年度）

- ・朝食を必ず食べる児童生徒の割合：小学5年生95%以上、中学2年生90%以上、高校2年生85%以上
- ・食に関する指導の年間計画（各学年）を作成している学校の割合（小学校・中学校）：100%
- ・生活リズム名人認定者数14,000人以上/年

プロセス指標（平成35年度）

- ・3歳児保護者に対して基本的な生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合：100%
- ・食生活改善推進協議会による食育講座の実施割合（※総数は県公立小学校数）50%以上
- ・生活リズム名人認定割合：取組学校園所数330校、認定者45%

◆今年度の当初計画

基本方針	担当課	委員
<p>(1) 基礎的な食に関する知識の習得</p>	<p>【幼保支援課】 ○保護者を対象に基本的な生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会を実施 ○取組強調月間の実施（6月・11月） ○取組強調月間の実施、取組に関するアンケートの集計・事業効果の分析</p> <p>【生涯学習課】 ○啓発用キャラクターツールの貸し出し（通年） ○生活リズム認定証の送付（通年） ○「高知家の早ね早起き朝ごはんフォーラム2021」にて食育についての展示（1/30）</p> <p>【保健体育課】 ○食事提供活動の実施（通年） ○健康教育の中核となる教員の資質向上のための研修会の実施 ・食育・学校給食推進研修会 ・栄養教諭・学校栄養職員研修会 ・健康教育推進研修会（保健主事研修会） ・学校保健推進研修会（養護教諭研修会） ○食に関する指導の年間指導計画作成の推進 ○学校訪問や研修（食育・学校給食推進研修会等）において年間指導計画作成に関する指導を行う ○「食に関する指導」実施状況調査における把握（3月）</p> <p>【健康長寿政策課】 ○食生活改善推進協議会による食育講座 ○副読本等健康教育教材の配布、活用状況調査の実施 ○子どもの健康教育講師派遣事業の周知・実施</p>	<p>【高知県食生活改善推進協議会】 ○H28年度から地域の食育推進事業（食育講座）を対象小学生に実施し、R2年度で5年が経過朝ごはんを手伝う子どもを増やしていきたい。</p> <p>【高知県栄養士会】 ○乳幼児健診時の栄養相談 ○生涯教育研修会「子どもの口の発達と噛むことに効果」</p> <p>【学校給食会】 ○朝食アンケートの実施 ・朝食摂取状況の実態把握 ・朝食欠食時の理由 ・朝食を摂取向上させるための手立て ・調査日の朝食内容</p>
<p>(2) 食の実践力の獲得</p>	<p>【漁業振興課】 ○地元食材による魚食調理実習</p> <p>【水産流通課】 ○水産物食育推進事業</p> <p>【健康長寿政策課】 ○食生活改善推進協議会による食育講座 ○高知県版リーフレットを活用した食育推進と健康教育の実施</p>	<p>【NPOさわやか高知】 ○料理、菓子、パン、マナー等講座 ○多世代交流</p> <p>【高知県栄養士会】 ○栄養ワンダー・オンライン2021で啓発</p>
<p>(3) 食の楽しさ・食事のマナーの定着</p>	<p>【健康長寿政策課】 ○食生活改善推進協議会による食育講座</p>	

第2節 健康長寿を実現する食育の推進

施策目標（平成35年度）

- ・食塩摂取量：8.0g以下 ・野菜摂取量：350g以上 ・果物摂取量（100g未満の県民の割合）：30%以下
- ・適正体重を維持している県民の割合（肥満（BMI25以上）の減少）：40歳～60歳代男性の肥満者の割合31%以下
40歳～60歳代女性の肥満者の割合19%以下
- ・よくかんで食べている県民の割合（やせ（BMI18.5未満）の減少）：20歳代女性のやせの費との割合20%
- ・朝食を食べている県民の割合20-30歳代：85%以上
- ・65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合：男性16%以下、女性20%以下
- ・1人平均むし歯数：3歳0.4本以下、12歳0.5以下（平成33年度）
- ・自分の歯を有する県民の割合：60歳で24本以上80%以上、80歳で20本以上60%以上（平成33年度）

プロセス指標（平成35年度）

- ・食育イベントの取組：50回以上/年

◆今年度の当初計画

基本方針	担当課	委員
<p>(1) 減塩や野菜摂取量を満たすバランスのとれた食生活の実践</p>	<p>【健康長寿政策課】 ○ヘルスマイトによる食育イベントの実施 ○ヘルスマイト事業 「男性のための料理教室」：4回 ○ヘルスマイト事業 「健康寿命延伸プロジェクト（働き世代）」：6回</p>	<p>【NPOさわやか高知】 ○料理教室 男性一般、郷土料理 ○健康講座</p> <p>【高知県栄養士会】 ○栄養ワンダー・オンライン2021で啓発</p> <p>【学校栄養士会】 ○学校給食摂取基準に準じた献立作成 （塩分2g未満、ビタミンC25mg） 学校給食摂取基準を踏まえ、多様な食品を組み合わせた給食の提供。特に日本型食生活の実践、伝統的な食文化の継承、地産地消を配慮した学校給食の推進と給食を生きた教材として活用した食育の推進</p>
<p>(2) 生活習慣病の予防と改善</p>	<p>【健康長寿政策課】 ○健康パスポート事業 ○高知家健康チャレンジ 啓発プロモーションと連動した民間企業等の取組促進 ○推定塩分摂取量測定を用いた減塩の啓発 ○減塩プロジェクト参加企業と協力し減塩の普及啓発活動</p>	<p>【消費者】 ○健康を軸とした食の提案を毎月テーマを持って取り組んでいる。</p> <p>【高知県栄養士会】 ○特定保健指導 ・担当者会・ステップアップ研修 ・生涯教育研修会「特定保健指導の実際」 ○生活習慣病予防教室栄養講座 ○腎臓病予防教室 ○高知市いきいき健康チャレンジ2021で啓発 ○栄養ワンダー2021で啓発 ○生涯教育研修会 ○外来栄養食事指導推進事業</p>
<p>(3) 健康寿命を延ばす低栄養の予防</p>	<p>【健康長寿政策課】 ○オーラルフレイル予防事業でカムカム健康プログラムの実施 ○ヘルスマイト事業 「やさしい在宅介護教室」 「シニアカフェ」</p>	<p>【高知県栄養士会】 ○高齢者の栄養・食の自立支援事業 ・地域ケア会議での栄養・食生活アドバイス ・介護予防事業 （フレイル予防食講座・認知症予防食講座）</p>
<p>(4) 豊かな食生活のための歯と口の健康づくり</p>	<p>【健康長寿政策課】 ○歯と口の健康づくり推進協議会での協議（年2回） ○各圏域での歯科保健地域検討会による検討 ○歯周病予防対策 ○第3期高知県歯と口の健康づくり基本計画改定（高知県歯と口の健康づくり基本計画検討会での協議）</p>	

第3節 食の理解と継承

<p>施策目標（平成35年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地場産物の活用（食品数ベース）：50% ・直販所売上高：100億円 ・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況：全市町村
<p>プロセス指標（平成35年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者を対象とした食品衛生に関する講習回数：90回以上 ・消費者を対象とした食品表示に関する講習回数：20回以上 ・意見交換会（リスクコミュニケーション）の開催：10回以上 ・土佐の料理伝承人による郷土料理伝承会の実施回数

◆今年度の当初計画

基本方針	担当課	委員
<p>(1) 食への感謝や食文化の継承</p>	<p>【農産物マーケティング戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐の料理伝承人による、郷土料理伝承会の開催 ○昨年度実施した土佐の料理伝承人の活動状況調査をふまえ、市町村と情報共有したうえで新たな対象を探す。 <p>【健康長寿政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘルスマイトによる食育講座や食育イベントなどで地域の食材や料理を紹介 	<p>【NPOさわやか高知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メディアを通して情報発信 ○海外への発信 ○講演、講座、執筆など ○山菜、梅、柚子等の収穫から加工まで体験交流
<p>(2) 食の安全・安心の確保</p>	<p>【業務衛生課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食中毒予防の普及啓発 ○食品衛生法改正の情報提供 ○食品表示の普及啓発 ○意見交換によるリスクコミュニケーションの推進 	
<p>(3) 地産地消の推進</p>	<p>【農産物マーケティング戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販所の発展を目的に、経営改善戦略の策定及び実行を支援するアドバイザーを直販所の依頼に応じ派遣。 ○直販所の店舗関係者や生産者等を対象に、法令や衛生面、農業等について学び、生産者と消費者の信頼を結ぶ役割を担っていただくための講習会を開催する。 <p>【漁業振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元食材による魚食調理実習 <p>【水産流通課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「今日はさかなにしよう」推進パートナー店をはじめとする県内量販店、小売店と連携し、地産地消推進の取組を実施 <p>【漁港漁場課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元食材による魚食調理実習 <p>【保健体育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関に取組依頼 ○地場産物活用割合50%以上を目指した献立の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・高知の食べものいっぱい入っちょう日：毎月1回 ・高知家のカレー：6/19 ・高知家のおだし：11/24 	<p>【高知県農業協同組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子を対象とした通年型(年5回)の食農教育体験の実施は今年の開催地区は1地区のみ <p>【市町村教育委員会連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ししとうを使った学校給食の提供 消費拡大、地産地消の向上へ取り組んでいく。
<p>(4) 災害時の栄養・食生活支援の取組</p>	<p>【健康長寿政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動事例検討会の開催 ○食品の家庭備蓄を進める「災害時の食の備え」リーフレット作成と配布 ○高知県南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインVer.2に基づく市町村保健活動ガイドラインの改定支援 ○高知県南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインの改定に伴う、高知県大規模災害時における栄養支援チーム活動マニュアルの見直し ○災害時保健活動情報伝達訓練への参加 	<p>【高知県栄養士会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時食支援体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・JDA-DATスタッフ育成研修 ・JDA-DATリーダー養成研修・スキルアップ研修会 ・県の南海トラフ地震対策情報伝達訓練に合わせてJDA-DAT派遣要請訓練の実施 ・災害時栄養・食生活支援活動マニュアルの作成 <p>【学校栄養士会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災給食の実施 給食の時間における新型コロナウイルス感染症予防を目的とした献立の工夫や学校における新しい生活様式の衛生管理指導

第4節 食を育む環境づくり

施策目標（平成35年度） ・食生活改善推進員の数：1,800人維持 ・食育に関心を持っている県民の割合：95%以上
プロセス指標（平成35年度） ・減塩プロジェクト参加企業数：40社 ・ヘルシー弁当等販売企業数：7社 ・食育月間の取組：40回 ・食育の日の取組：10回 ・やさいの日の取組：25回

◆今年度の当初計画

基本方針	担当課	委員
(1) 食育に関する人材育成	【健康長寿政策課】 ○食生活改善推進員養成講座の開催	【NPOさわやか高知】 ○行政、NPO、関係団体等との連携活動 ・大学生への食材支援 工科大：4/22、県立大(永国寺)：4/26 県立大(池)：4/28、高知大：5/12 ・地域の高齢者への弁当づくり ○食のイベント、コンクールに参加 【高知県栄養士会】 ○生涯教育研修会の開催 ・「栄養の日(8/4)・栄養週間(8/1～8/7)啓発
(2) 企業や関係団体などとの連携	【健康長寿政策課】 ○高知家健康チャレンジ普及月間(11月)	【消費者】 ○グループ企業と一緒に健康、運動、知識(本)など広く学びながら、提案・活動を行う。 【NPOさわやか高知】 ○行政、NPO、関係団体等と連携活動 【高知県栄養士会】 ○栄養ワンダー2021(7/1～8/31) ・「高知市いきいき健康チャレンジ2021」応援講座 栄養編 講演：「栄養の整理整頓」 ・「予防めし」の紹介
(3) 県民運動の推進	【健康長寿政策課】 ○食育の日の取組 ○食育月間の取組 ○やさいの日の取組 ○減塩プロジェクト参加企業への啓発資材の配布(9月)	【高知県栄養士会】 ○「栄養の日(8月4日)・栄養週間(8月1日～7日)」の啓発 ○加工食品の栄養成分値算定

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【幼保支援課】	
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進		計画冊子	P28～P31	
(1)基礎的な食に関する知識の習得 (2)食の実践力の獲得 (3)食の楽しさ・食事のマナーの定着				
【施策目標】				
【プロセス指標】(令和5年度) ・3歳児保護者に対して基本的生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合:100%				
		<H30> 95.3%	<R1> 99.3%	<R2> 100%
【今年度の取組目標】 ・3歳児保護者に対して基本的生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合:100%			直近の実績値(R3年度)	
			88.6% (12月末現在)	
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定 (C・A)
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に基本的生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会を実施 ・取組強調月間実施(6月・11月) ・取組強調月間の実施、取組に関するアンケートの集計・事業効果の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児保護者を対象に基本的生活習慣に関するパンフレットを配付(5月) ・取組強調月間実施(6月・11月) ・取組強調月間(6月・11月)の取組に関するアンケートの実施と集計 ・事業効果の分析 ・保護者に理解を促し、実践につなげるための学習会を実施 		<p>【課題】 基本的生活習慣に関する学習会等においては、新型コロナウイルス感染症予防のため、行事等を活用した学習会の開催は難しかったが、昨年度より開催する園は増えていた。(R2:45園、R3:59園) 取組の充実を図るため、新しい生活様式の中、園でどのような工夫をしているか情報を収集していく必要がある。</p> <p>【今後の取組】 取組の状況調査を集計し、事業効果を分析すると共に、効果が見られた園の取組状況について情報を収集し、ホームページ等で啓発を図っていく。</p>

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

	担当課	【生涯学習課】			
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進	計画冊子	P28～P31			
(1)基礎的な食に関する知識の習得 (2)食の実践力の獲得 (3)食の楽しさ・食事のマナーの定着					
【施策目標】(平成35年度) 生活リズム名人認定者数14,000人以上/年					
	<H29> 総認定者数 19,829人(延べ)	<H30> 総認定者数 15,842人(延べ)	<R1> 総認定者数 17,569人(延べ)	<R2> 総認定者数 17,566人(延べ)	
【プロセス指標】(平成35年度) 生活リズム名人認定割合:取組学校園所数330校、認定者45%					
	<H29> 300園所校 (延べ406園所校) 認定率 45.6%	<H30> 316園所校 (延べ386園所校) 認定率 42.5%	<R1> 300園所校 (延べ393園所校)認定率43.5%	<R2> 313園所校 (延べ393園所校) 認定率 43.7%	
【今年度の取組目標】 ・生活リズム名人認定率45%以上 ・小学校の取組校の増加140校 ・中学校取組校の増加10校			直近の実績値(R3年度)		
			R4. 1月現在 保育所・幼稚園 園所数 5園所 (延べ8園所) 取組人数 297人(延べ) 認定者数 195(延べ) 認定率 65.7% 小学校 学校数 99校 (延べ105校) 取組人数 17,532人(延べ) 認定者数 6,372人(延べ) 認定率 36.3% 中学校 2校(延べ2校) 取組人数 24人 認定者数 13人 認定率 54.2% 総取組園所校数 106園所校(延べ115園所校) 総取組人数 17,853人(延べ) 総認定者数 6,580人(延べ) 認定率 36.9%		
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)	
生活リズム名人	<ul style="list-style-type: none"> 啓発用キャラクターツールの貸し出し(通年) 生活リズムチェックカードの配布 生活リズム認定証の送付(通年) 「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2021」にて食育についての取組(1/30) 		<ul style="list-style-type: none"> 啓発用キャラクターツールの貸し出し 6件(R4 1月現在) 着ぐるみ4件・パペット2件・紙芝居2件・データ1件 県内全小学生へ生活リズムチェックカードを配布(5月・12月) 「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2021」に向け、オーテピア2階において食育推進のための展示(R4. 1.11～1.30) 「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2021」参加者へ食生活改善推進協議会会員考案のメニューや調理グッズの配布 		【成果と課題】 [成果] 生活リズムチェックカードに園児・児童・生徒が取り組むことで、生活リズムの向上が見られたという意見が増えた。 [課題] 1月現在では、昨年に比べ全体の認定率が低下している。 【今後の取組】 ・保幼小中PTAに対して生活リズムチェックカードの取組及び認定率向上に向けた協力依頼 ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2021」の開催の周知の徹底、食生活改善推進協議会の会員の協力を得て食育推進を強化する。

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【保健体育課】
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進		計画冊子	P28～P31
(1) 基礎的な食に関する知識の習得 (2) 食の実践力の獲得 (3) 食の楽しさ・食事のマナーの定着			
【施策目標】(令和5年度) ・朝食を必ず食べる児童生徒の割合：小学5年生95%以上、中学2年生90%以上、高校2年生85%以上 ・食に関する指導の年間計画(各学年)を作成している学校の割合(小学校・中学校)：100%			
	<H29> ・朝食を毎日食べる 小5 男子85% 女子86% 中2 男子81% 女子79% 高2 男子76% 女子83% ・指導計画 88.0%	<H30> ・朝食を毎日食べる 小5 男子84% 女子87% 中2 男子80% 女子78% 高2 男子77% 女子81% ・指導計画 90.9%	<R1> ・朝食を毎日食べる 小5 男子84% 女子85% 中2 男子80% 女子77% 高2 男子76% 女子79% ・指導計画 98.6%
	<R2> ・朝食を毎日食べる (全数ではないため参考数値) 小5 男子87% 女子86% 中2 男子81% 女子78% 高2 男子74% 女子78% ・指導計画 99.0%		
【プロセス指標】(令和5年度) なし			
【今年度の取組目標】 ・食事提供活動の実施(R2:7団体 9校) ・健康教育の中核となる教員の研修を行い、更なる資質向上を図る。			直近の実績値(R2年度)
			・朝食 (全数ではないため参考数値) 小5 男87% 女86% 中2 男81% 女78% 高2 男74% 女78% ・指導計画 99.0%
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
朝食に関する取組	○食事提供活動の実施(通年) ○健康教育の中核となる教員の資質向上のための研修会の実施 ・食育・学校給食推進研修会 (栄養教諭・学校栄養職員研修会) ・健康教育推進研修会(保健主事研修会) ・学校保健推進研修会(養護教諭研修会) ○健康教育副読本を活用した食育の実施 ・副読本に加え、指導の手引や活用実践事例集を作成し、活用について周知 ・活用状況調査(12月・2月)	○食事提供活動の実施団体の決定 ・実施団体 2団体 ・実施校 3校(小2校・中1校) ※新型コロナウイルス感染症の感染状況により追加募集を検討 →追加希望なし ※来年度の実施希望や問い合わせ複数あり ○健康教育の中核となる教員の悉皆研修 ・日程の決定、講師の依頼等 食育・学校給食推進研修会：2/14に延期 健康教育推進研修会：12月YouTube配信 学校保健推進研修会：12月YouTube配信 ○健康教育副読本を活用した実践 ・副読本の配付 ・副読本を活用した取組の実践 ・活用状況調査の実施(集計中)	【成果と課題】 食事提供活動は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年度より実施団体・実施校が減少。 朝食摂取については、地域や学校の実情に応じ、学校経営計画に位置付ける等しながら取組が行われている。 規則正しい生活習慣を身につけるためには、健康教育副読本等を活用し、家庭と連携した取組が必要。 【今後の取組】 食事提供活動は、新規に希望する団体を中心に支援を行う。 学校における取組については、関係者と更に連携を図り、取組を継続する。
年間指導計画作成の推進	○食に関する指導の年間指導計画作成状況 令和元年度 → 令和2年度 小学校 99.0% 100% 中学校 98.1% 97.2% 全体 98.6% 99.0% ○学校訪問や研修(食育・学校給食推進研修会等)において年間指導計画の作成に関する指導を行う ○「食に関する指導」実施状況調査における把握(3月)	○R2年度の食に関する指導の年間指導計画の作成状況について、保健体育課HPに掲載(「高知県の学校給食」内) ○全体計画作成状況調査(2月末)	【成果と課題】 年間指導計画はほぼ作成できた。残る数校について、作成を促す必要がある。 【今後の取組】 各学校の実態や課題に応じた計画とするため、研修等において指導を継続する。

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【漁業振興課】		
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進		計画冊子	P28～P31		
(1) 基礎的な食に関する知識の習得 (2) 食の実践力の獲得 (3) 食の楽しさ・食事のマナーの定着					
【施策目標】(令和5年度)					
【プロセス指標】(令和5年度) ・水産業関係団体等と連携し、調理等の体験学習や出前授業を行います。		<H29> 小学校(延べ13校) 368名 中学校(延べ6校) 257名 その他福祉施設等(延べ5箇所) 127名	<H30> 小学校(延べ18校) 400名 中学校(延べ10校) 204名 その他福祉施設等(延べ15箇所) 520名	<R1> 小学校(延べ17校) 471名 中学校(延べ11校) 236名 その他福祉施設等(延べ7箇所) 150名	<R2> 小学校(延べ10校) 470名 その他福祉施設等(延べ4箇所) 45名
【今年度の取組目標】 ・水産業関係団体等と連携し、調理等の体験学習や出前授業を行います。				直近の実績値(令和2年度)	
				小学校(延べ10校) 470名 その他福祉施設等(延べ4箇所) 45名	
今年度の当初計画(P)			今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)
魚食普及活動	◆地元食材による魚食調理実習(計画) 【室戸、清水】 小学校(延べ4校) その他福祉施設等(4箇所) ※コロナウイルスの影響等によりスケジュールが未定のため、実施校数に誤差が生じる場合があります。 ※宿毛、中央での実施は、現時点では未定		◆地元食材による魚食調理実習(実績) 小学校(延べ3校) 中学校(延べ0校) その他福祉施設等(3箇所)		【成果と課題】 ○成果 漁業に関わりのない児童たちが地元の魚に関心を持つ良い機会となった。 ○課題 コロナ禍で魚食普及活動の機会を設けにくくなっている。 【今後の取組】 小学校: 1校、その他福祉施設等: 1箇所 ※2月以降実施予定

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当	【水産流通課】		
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進		計画冊子	P28～P31		
(1)基礎的な食に関する知識の習得 (2)食の実践力の獲得 (3)食の楽しさ・食事のマナーの定着					
【施策目標】(令和5年度)					
【プロセス指標】(令和5年度)		<H30> 19校 19回	<R1> 16校 16回	<R2> 9校 10回	
【今年度の取組目標】 ・地域の鮮魚店等と連携し、学校給食の場を活用した調理等の体験学習や出前授業を15回以上実施。				直近の実績値(R2年度)	
				令和2年度食育授業開催校 9校 開催回数10回	
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定 (C・A)	
魚 食 普 及 活 動	□水産物食育推進事業 ・(公財)学校給食会に委託し、県内の小学校などで県産水産物を素材に調理実習を行う体験型出前授業を実施。講師には地域の鮮魚店等の従事者を招へい。 ・実施回数15回以上を予定。	・6月25日(金)とさ自由学校 ・7月1日(木)魚梁瀬小学校 ・7月14日(水)波介小学校 ・10月6日(水)山田特別支援学校 ・10月12日(火)窪川小学校 ・10月12日(火)一ツ橋小学校 ・10月15日(金)久礼田小学校 ・10月20日(水)東津野中学校 ・10月22日(金)斗賀野小学校 ・10月22日(金)日章小学校 ・11月5日(金)舟入小学校 ・11月8日(月)黒岩小学校 ・11月12日(金)久礼小学校(2回実施) ・11月22日(月)高知小学校 ・11月30日(火)橋原小学校 ・12月3日(金)介良小学校 ・12月9日(木)大野見小学校 ・12月10日(金)大野見中学校 計18校 19回		【課題】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保護者参加中止も生じたため、全体的に保護者の参加が少なく、家庭への直接的な魚食の訴求が十分できなかった。 【今後の取組】 ・来年度も同様に食育授業を実施。 ・実施の際には、新型コロナウイルス感染対策の徹底を図ることにより、保護者の参加を呼びかけ、家庭での魚食普及を促していく。	

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

	担当課	【健康長寿政策課】		
第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進	計画冊子	P28～P31		
(1)基礎的な食に関する知識の習得 (2)食の実践力の獲得 (3)食の楽しさ・食事のマナーの定着				
【施策目標】(令和5年度) ・朝食を必ず食べる児童生徒の割合：小学5年生95%以上、中学2年生90%以上、高校2年生85%以上				
<評価> 毎日朝食を食べる児童の割合は横ばい。 学校栄養士の調査から土・日に食べない児童を減少させることを優先的に取り組む。	<H29> 男 女 小5 85% 86% 中2 81% 79% 高2 76% 83%	<H30> 男 女 小5 84% 87% 中2 80% 78% 高2 77% 81%	<R1> 男 女 小5 84% 85% 中2 80% 77% 高2 76% 79%	<R2> 男 女 小5 87% 86% 中2 81% 78% 高2 74% 78%
【プロセス指標】(令和5年度) ・食生活改善推進協議会による食育講座の実施割合(※総数は県公立小学校数)50%以上				
	<H29> 実施回数：122回 実施割合：41.7%	<H30> 実施回数：137回 実施割合：49.7%	<R1> 実施回数：142回 実施割合：54.0%	<R2> 実施回数：67回 実施割合：24.5%
【今年度の取組目標】 ・学校関係者対象の研修会における副読本による指導方法の周知 ・食育講座全市町村で100回以上、食育イベント全市町村で1回以上 ・地区組織が参加する場で「食生活実態調査に基づく高知県版健康教育手法」の学習会(2回)と朝食欠食課題校での健康教育の実践		直近の実績値(R3年度)		・健康教育実施率(R2) 100% ・食育講座実施回数 75回(26市町村) ・課題校において健康教育実施(3市町村4校6回)
今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)	
食育講座	○食生活改善推進協議会による食育講座 ・食育講座教材内容の見直し(4月) ・ヘルスメイト理事会での事業実施に向けて協議(4月) ・実施回数の決定(4月) ・食育講座の開始(6月～) ・ヘルスメイト理事会において事業進捗状況の確認と次年度事業について協議 ・結果分析(ヘルスメイトが子どもの様子(態度・行動)や発言(感想)記録 ・事業報告書の集計と事業効果の分析		・食育講座の開始(6月～2月) ・夏期にはコロナの影響による延期となったが、26市町村75回実施済み(12月現在)	
健康教育	・副読本の印刷と配布(4～6月) ・子どもの健康教育講師派遣事業の周知・実施 ・健康教育推進研修会において新副読本による教育指導の徹底を行う(11月) ・副読本活用状況調査の実施(10月と2月) ・副読本等健康教育教材の印刷準備(3月) ○高知県版健康教育リーフレットを活用した食育推進と健康教育の実施 ・実施に向けての協議 ・健康教育実施校と協議 ・健康教育の実施(9月～2月) ・地区組織研修会にて健康教育の学習会(2回) ・次年度評価		・副読本の印刷・配布(4月～6月) ・子どもの健康教育講師派遣事業の周知・実施 ・副読本活用状況調査の実施(12月～3月) ・実施校の選定 3市町村4校6回 ・家庭科・体育教諭、養護教諭、栄養教諭等が見学することで健康教育手法を普及 ・高知県版健康教育リーフレットの配布 ・地区組織への普及 ・10/25 中央西福祉保健所管内研修会 ・3/2(予定) 須崎福祉保健所管内研修会	
	【成果と課題】 ・感染拡大防止策を講じ、対面と資料提供の方法により食育講座を実施した。 ・資料提供による実施方法を促進するためには実施校の協力が必要 【今後の取組】 ・感染症対策に対応した方法の実施 ・食の自立を促すレシピ掲載		【成果と課題】 ・副読本の活用状況について、実施率100%となるよう取組が進められているが、効果的な活用方法についてさらなる周知が必要。 ・エビデンスに基づく健康教育を実施することで朝食の重要性の理解が深まった。 【今後の取組】 ・積極的に副読本を活用してもらえよう学校側へ促していく。 ・健康教育を福祉保健所単位で1校を実施していく。 ・県内の地区組織へ健康教育手法を普及啓発し、技術向上を図る。	

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【健康長寿政策課】		
第2節 健康長寿を実現する食育の推進		計画冊子	P32～P35		
(1)減塩や野菜摂取量を満たすバランスのとれた食生活の実践 (2)生活習慣病の予防と改善 (3)健康寿命を延ばす低栄養の予防 (4)豊かな食生活のための歯と口の健康づくり					
【施策目標】(令和5年度) ・食塩摂取量:8.0g以下 ・野菜摂取量:350g以上 ・果物摂取量(100g未満の県民の割合):30%以下 ・適正体重を維持している県民の割合(肥満(BMI25以上)の減少) 40歳～60歳代男性の肥満者の割合31%以下 40歳～60歳代女性の肥満者の割合19%以下 ・よくかんで食べている県民の割合(やせ(BMI18.5未満)の減少):20歳代女性のやせの費との割合20% ・朝食を食べている県民の割合20～30歳代:85%以上 ・65歳以上低栄養傾向(BMI20以下)の割合:男性16%以下、女性20%以下 ・1人平均むし歯数:3歳0.4本以下、12歳0.5以下(平成33年度) ・自分の歯を有する県民の割合:60歳で24本以上80%以上、80歳で20本以上60%以上(平成33年度)				<R4>	
				県民栄養調査で評価	
【プロセス指標】(令和5年度) ・食育イベントの取組:50回以上/年		<H29> 48回	<H30> 51回	<R1> 50回	<R2> 39回
【今年度の取組目標】 ・ヘルスマイトによる食育イベントの実施回数:34市町村			直近の実績値(R3年度)		
			食育イベント実施回数 25市町村 延38回		
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)	
食生活の実践	・ヘルスマイトによる食育イベントの実施 ・ヘルスマイト事業「男性のための料理教室」:4回 ・ヘルスマイト事業「健康寿命延伸プロジェクト(働き世代)」:6回	・コロナの影響で8月のイベントは延期となったが、健康チャレンジ月間(11月)に合わせたイベントを実施 ・ヘルスマイト事業「男性のための料理教室」:2回 ・ヘルスマイト事業「健康寿命延伸プロジェクト(働き世代)」:3回		【成果と課題】 ・展示やレシピ・資材の配布による非接触の方法で実施 【今後の取組】 ・食育イベントの継続実施	
生活習慣病予防	・健康パスポート事業 アプリ版パスポートのリニューアル(7/15) ・高知家健康チャレンジ 啓発プロモーションと連動した民間企業等の取組促進 ・推定塩分摂取量測定を用いた減塩の啓発 ・減塩プロジェクト参加企業と協力し減塩の普及啓発活動	・健康パスポート事業はアプリ版パスポートの改修(栄養に関するクイズや野菜摂取を促す動画を配信予定)。アプリ内での健康チャレンジ目標に野菜摂取についての項目を設け、自己管理を支援 ・高知家健康チャレンジの官民協働の取組を促進するため、健康づくり団体を対象にワークショップを開催(5/8) ・推定塩分摂取量測定を用いた減塩の啓発(4月～12月12,132人) ・減塩ポスターを作成し、減塩プロジェクト参加企業へ配布・掲示依頼(2月 429事業所、700部)		【成果と課題】 ・健康パスポート アプリ内の機能である「健康チャレンジ目標」に野菜摂取を促す項目を設定し、自己管理を支援した。さらに、アプリ機能を充実し、自宅に居ながら健康づくりを促進する必要がある。 ・新たにラジオやスポーツイベントによる啓発を実施し、幅広い世代に啓発ができた。今後も新たな啓発の機会を拡げていく必要がある。 【今後の取組】 ・健康パスポート 健康クイズ回答でポイント付与を行い、自宅に居ながらの健康づくりを促進する。 ・引き続き効果的な広告媒体を活用し、事業者にはメリットを掲示したうえで参画を促し、市町村や地域関連団体とも連動したコラボ企画を強化する。	
低栄養予防	・オールフレイル予防事業でカムカム健康プログラムの実施(口腔体操、低栄養予防学習、噛みごたえのある料理の試食) ・ヘルスマイト事業「やさしい在宅介護教室」:4回 ・ヘルスマイト事業「シニアカフェ」:26回	・オールフレイル対策検討会開催(6/2、7/2) 3モデル市町でプログラム実施(安芸市、津野町、黒潮町) 介入群:47人、対照群:52人 *感染対策を徹底しつつ実施 ・ヘルスマイト事業「やさしい在宅介護教室」:3回 ・ヘルスマイト事業「シニアカフェ」:7回		【成果と課題】 ・自宅でも取り組める簡単な予防策の啓発が必要 【今後の取組】 ・実践後の評価をもってプログラムを拡大させる。	
歯と口の健康づくり	・歯と口の健康づくり推進協議会での協議(年2回) ・各圏域での歯科保健地域連絡会による検討 ・歯周病予防対策 ・第3期高知県歯と口の健康づくり基本計画改定(高知県歯と口の健康づくり基本計画検討会での協議(3回))	・歯と口の健康づくり推進協議会での協議(8/26、2/22予定) ・各圏域での歯科保健検討会による検討(2圏域2月検討予定) ・歯周病予防対策 糖尿病と歯周病の関連分析に係るデータ提供依頼(国保連合会) 歯周病に関する新聞広告(2/23予定) 歯周病予防啓発CMを放送(時期未定) ・歯と口の健康づくり基本計画検討会での協議(7/28、10/19、12/16)		【成果と課題】 ・歯周病予防対策や歯と口の健康に関する取組が必要 ・歯周病予防について職域への働きかけが必要 ・第3期歯と口の健康づくり基本計画(案)作成 【今後の取組】 ・歯周病予防対策継続	

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【農産物マーケティング戦略課】		
第3節 食の理解と継承		計画冊子	P36～P40		
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組					
【施策目標】(令和5年度) 直販所売上高:100億円		<H29> 直販所売上 103億円	<H30> 直販所売上 100.6億円	<R1> 直販所売上 105.5億円	<R2> 直販所売上 105.8億円
【プロセス指標】(令和5年度) 土佐の料理伝承人による郷土料理伝承会の実施回数:3回/年			<H30> 郷土料理伝承会 3回開催54名参加	<R1> 郷土料理伝承会 2回開催54名参加	<R2> 郷土料理伝承会 3回開催36名参加
【今年度の取組目標】 土佐の料理伝承人による郷土料理伝承会の開催回数:3回				直近の実績値(R3年度)	
				郷土料理伝承会 2回開催、23名参加 直販所売上(R2) 105.8億円	
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(G・A)	
食文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐の料理伝承人による、郷土料理伝承会を開催する。 ・土佐の料理伝承人の選定 昨年度実施した土佐の料理伝承人の活動状況調査をふまえ、市町村との情報共有したうえで後継者を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理の伝承を目的として昨年度作成した動画(県内の郷土料理伝承人による郷土料理の作り方・料理にまつわるストーリー)のPRと活用: 動画は県教育委員会、食生活改善推進協議会、栄養士会他へ配布 ・郷土料理伝承会:2回開催(23名参加)【※コロナ対応のため人数制限(1講座10名)を実施 ・土佐の料理伝承人の公募(10～11月) 構原町1グループ推薦受付 		<p>【成果】郷土料理伝承会を開催(高知市・北川村)し、23名が参加。 北川村の伝承会は、地域の農家女性組織が希望して開催したこともあり、後継者候補としての一歩を踏み出した。</p> <p>【課題】土佐の料理伝承人の高齢化に伴う新たな担い手の確保と育成</p> <p>【今後の取組】 郷土料理伝承会:1回(1月) 土佐の料理伝承人の選定審査会(2月)</p>	
地産地消	<ul style="list-style-type: none"> ①直販所の発展を目的に、経営改善戦略の作成及び実行を支援するアドバイザーを直販所の依頼に応じ派遣する。 ②直販所の店舗関係者や生産者等を対象に、法令や衛生面、農薬等について学び、生産者と消費者の信頼を結ぶ役割を担っていただくための講習会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①経営改善戦略作成支援:5店舗 <ul style="list-style-type: none"> ・海の駅 東洋町(6回) ・キラメッセ室戸(0回) ・琴ヶ浜かっぱ市(2回) ・津野町ふるさとセンター(3回) ・道の駅ビオスおおがた(0回) ※()内はアドバイザー派遣回数 ②直販所「安心係」養成講習会: ・7月に県下3ブロックで計4回開催 高知市2回、須崎市1回、四万十市1回 		<p>【成果と課題】 5店舗中3店舗へは、戦略作成に向けアドバイザーを派遣済み。 派遣できていない2店舗へは、3月末までにアドバイザー派遣し、経営改善戦略を作成する。</p> <p>【今後の取組】 直販所「安心係」発展講習会(2月) ・高知市、四万十市(予定)</p>	

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【業務衛生課】
第3節 食の理解と継承		計画冊子	P36～P40
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組			
【施策目標】(令和5年度)			
【プロセス指標】(令和5年度)		<H30>	<R1>
・消費者を対象とした食品衛生に関する講習回数:90回以上 ・消費者を対象とした食品表示に関する講習回数:20回以上 ・意見交換会(リスクコミュニケーション)の開催:10回以上		食品衛生に関する講習 95回 食品表示に関する講習 19回 意見交換 12回	食品衛生に関する講習 89回 食品表示に関する講習 19回 意見交換 12回
【今年度の取組目標】			直近の実績値 (R2年度実績)
・食品安全に関する情報の提供:随時 ・食品表示の普及啓発:随時 ・意見交換会開催:10回以上			食品衛生に関する講習 24回 食品表示に関する講習 5回 意見交換8回
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定 (C・A)
普及啓発	・食品安全に関する情報の提供 食中毒予防の普及啓発 食品衛生法改正の情報提供 等 ・食品表示の普及啓発 (参考:事業者向け) ・食品衛生法改正の周知・指導 (HACCP制度化、営業許可制度の見直し、営業届出制度の創設、食品リコール制度の創設等) ・適正な食品表示の普及啓発・指導	※R3.7末時点 ・消費者向け食品衛生講習 2回 ・消費者向け食品表示講習 2回 (参考) ・事業者向け食品衛生講習 118回 (うち、当課関係分7回) ・事業者向け食品表示講習 30回 (うち、当課関係分0回)	【成果と課題】 ・R3年は11.5時点で11件の食中毒(県8、高知市3)が発生し、R2年の発生数(9件)を上回っている ・新型コロナウイルスの影響のほか、食品衛生法改正に伴う事業者への対応が急がれることから、消費者向け事業の機会が減少している 【今後の取組】 ・引き続き講習会等の機会やホームページ等での普及啓発を行う
相互理解	・意見交換によるリスクコミュニケーションの推進	・意見交換会:5回(R3.12末時点) -食中毒・食品衛生について -食品表示のワークショップ -生・加熱不十分の食肉のリスクについて -食品表示について ・県政出前講座:0回	【成果と課題】 ・各福祉保健所において意見交換会を開催し、各テーマに関する情報提供や意見交換を行った 【今後の取組】 ・各福祉保健所において意見交換会を予定

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当課	【漁業振興課】		
第3節 食の理解と継承		計画冊子	P36～P40		
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組					
【施策目標】(令和5年度)					
【プロセス指標】(令和5年度)		<H29> 小学校(延べ13校)368名 中学校(延べ6校)257名 その他福祉施設等(延べ5箇所)127名	<H30> 小学校(延べ18校)400名 中学校(延べ10校)204名 その他福祉施設等(延べ15箇所)520名	<R1> 小学校(延べ17校)471名 中学校(延べ11校)236名 その他福祉施設等(延べ7箇所)150名	<R2> 小学校(延べ10校)470名 中学校(延べ0校)0名 その他福祉施設等(延べ4箇所)45名
【今年度の取組目標】 ・漁業指導所による漁業に関する講義や、調理実習等の普及啓発を行います。 ・漁業士会や漁協女性部等と連携し、鯉の薫焼き体験、一本釣り模擬体験等を行ったり、魚のさばき方の学習、またそれらの地場産品を使用した郷土料理作りや実食を行います。					直近の実績値 (令和2年度)
					小学校(延べ10校)470名 中学校(延べ0校)0名 その他福祉施設等(延べ4箇所)45名
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)	
魚食普及活動	◆地元食材による魚食調理実習(計画) 【室戸、清水】 小学校(延べ4校) 中学校(延べ0校) その他福祉施設等(4箇所) ※コロナウイルスの影響等によりスケジュールが未定のため、実施校数に誤差が生じる場合があります。 ※宿毛、中央は、実施の予定は今の時点ではないとのことです。		◆地元食材による魚食調理実習(実績) 小学校(延べ3校) 中学校(延べ0校) その他福祉施設等(3箇所)		【成果と課題】 ○成果 漁業に関わりのない児童たちが地元の魚に関心を持つ良い機会となった。 ○課題 コロナ禍で魚食普及活動の機会を設けにくくなっている。 【今後の取組】 小学校:1校、その他福祉施設等:1箇所 ※2月以降実施予定

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当	【水産流通課】	
第3節 食の理解と継承		計画冊子	P36～P40	
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組				
【施策目標】(令和5年度)				
【プロセス指標】(令和5年度)		<H30> 来場者数 26,766人 パートナー店 270店舗	<R1> 来場者数 14,895人 パートナー店 270店舗	<R2> キャンペーン応 募件数合計 9,186件 パートナー店 326店舗
【今年度の取組目標】 ・県内の水産業者と連携し、量販店や小売店でのイベント等を通じて、高知県産水産物の流通拡大を図る。		直近の実績値(R2年度)		
		<input type="checkbox"/> 「今日はさかになにしよう」ハッシュタグキャンペーン(令和2年6月15日(月)～令和2年8月31日(月)) 投稿数1,325 <input type="checkbox"/> 「今日はさかになにしよう」買って応援キャンペーン(令和2年7月1日(水)～令和2年8月31日(月)) 応募件数1,612 <input type="checkbox"/> 「高知家のおいしい食材 食べて応援キャンペーン」(令和2年8月1日(土)～令和2年11月30日(月)) 応募件数6,249 <input type="checkbox"/> 「今日はさかになにしよう」推進パートナー店 2年度末 326店舗		
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)
地産地消の推進	<input type="checkbox"/> 「今日はさかになにしよう」推進パートナー店をはじめとする県内の量販店、小売店と連携し、地産地消の取組を実施(R2年度から継続実施)。	<input type="checkbox"/> 県内の量販店、小売店等と連携した「今日はさかになにしよう」買って応援キャンペーンPART2を実施(令和3年2月20日(土)～令和3年5月9日(日)。令和2年度から継続実施。)		【成果】 ・「今日はさかになにしよう」買って応援キャンペーンPART2 応募件数15,172 ・「今日はさかになにしよう」推進パートナー店 318店舗(R3.12) 【課題】 ・量販店、飲食店での県産水産物の取扱の拡大。 【今後の取組】 ・「今日はさかになにしよう」推進パートナー店の募集を引き続き実施。

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

	担当課	【漁港漁場課】
第3節 食の理解と継承	計画冊子	P36～P40
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組		
【施策目標】(令和5年度)		
【プロセス指標】(令和5年度)	<H29> 小学校 1回	<H30> 小学校 2回
	<R1> 小学校 2回	<R2> 0回
【今年度の取組目標】 ・県は、漁協女性部と連携し、地場産のカツオを使用した、「カツオのたたき」づくり体験を行います。	直近の実績値 (令和2年度)	
	・食育講座 実施回数: 0回	
今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定(C・A)
食育 ◆地元食材による魚食調理実習(計画) 小学校(延べ1校)	過去に「カツオのたたき」づくり体験を実施した実績のある小学校に連絡したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は取組を実施できなかった。	【課題】 ・新型コロナウイルス感染症対策 【今後の取組】 ・「カツオのたたき」づくり体験を可能とする新型コロナウイルス感染症対策の検討

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

	担当課	【保健体育課】
第3節 食の理解と継承	計画冊子	P36～P40
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組		
【施策目標】(令和5年度) ・学校給食における地場産物の活用(食品数ベース):50%	<H29> 地場産物活用率 (食品数) 37.0%	<H30> 地場産物活用率 (食品数) 39.6%
	<R1> 地場産物活用率 (食品数) 38.9%	<R2> 全国調査中止 (文部科学省)
【プロセス指標】(令和5年度) なし		
【今年度の取組目標】 ・高知の食べものいっぱい入っちゃう日」の取組 「高知家のカレー(カレーの日)」→ 30例(R2:25例) 「高知家のおだし(だして味わう和食の日)」→ 30例(R2:27例)	R3はまだ提出したばかりで 結果は公表されていません (R2は調査なし)	直近の実績値(R1年度)
		地場産物活用率 (食品数) (金額) 高知県 38.9% 54.1% 全 国 26.0% 52.7%
今年度の当初計画(P)	今年度の取組状況(D)	課題と今後の取組予定 (C・A)
地産地消の推進 ○関係機関に取組依頼 ・市町村(学校組合)教育長 ・県立学校長 ・高知県学校栄養士会 ○地場産物活用割合50%以上(食品数ベース、調味料は除く)を目指した献立の実施 ・高知の食べものいっぱい入っちゃう日:毎月1回(任意の日) ・高知家のカレー(カレーの日):6/19 ・高知家のおだし(だして味わう和食の日):11/24 ○取組事例の報告(12月)	○市町村(学校組合)教育長及び県立学校長に取組及び報告依頼(4月) ○高知県学校栄養士会の研修会において地場産物の更なる活用について依頼(5月) ○各学校等において取組実施 ○取組の報告(集計中)	【成果と課題】 地場産物の積極的な活用について、日を設定した取組を行うことで、学校給食で意識的に地場産物を活用する統一的な取組を行うことができた。 昨年度に引き続き今年度も、県の事業(農業振興部・水産振興部)により地場産物を積極的に活用する等の取組がなされた。 【今後の取組】 取組を継続するとともに、普及啓発を併せて行う。 また、国の第4次食育推進基本計画の目標値も併せて周知を行い、今後も地産地消の取組を推進する。

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

	担当課	【健康長寿政策課】			
第3節 食の理解と継承	計画冊子	P36～P40			
(1)食への感謝や食文化の継承 (2)食の安全・安心の確保 (3)地産地消の推進 (4)災害時の栄養・食生活支援の取組					
【施策目標】(令和5年度) ・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況:全市町村					
【プロセス指標】(令和5年度)		<H29> 9市町村	<H30> 30市町村	<R1> 31市町村	<R2> 33市町村
【今年度の取組目標】 ・市町村災害時保健活動マニュアルに栄養・食生活支援活動未記載の1町への策定支援				直近の実績値(R3年度) ・食育講座実施回数:75回 ・食育イベント実施回数:38回 ・市町村災害時保健活動マニュアルに栄養食支援の記載あり 34市町村	
今年度の当初計画(P)		今年度の取組状況(D)		課題と今後の取組予定(C・A)	
食文化の継承	・ヘルスメイトによる食育講座や食育イベントなどで地域の食材や料理を紹介する	・食育講座は8月は延期になったが、9月～12月にかけて学校で実施ができた。(26市町村75回) ・イベントでは試食の代わりに資料配付、レシピ配布とレシピで使用する食材配布等で実施		【成果と課題】 ・展示やレシピ配布等での普及啓発 【今後の取組】 ・食育講座、食育イベントの継続実施	
災害時の栄養・食生活支援	・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動事例検討会の開催 ・食品の家庭備蓄を進める「災害時の食の備え」リーフレット作成と配布 ・「高知県南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインVer.2」に基づく「市町村保健活動ガイドライン」の改定支援 ・「高知県南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドライン」の改定に伴う、「高知県大規模災害時における栄養支援チーム活動マニュアル」の見直し ・災害時保健活動情報伝達訓練への参加(1月)	・栄養・食生活支援活動事例検討会を実施(9/22、28人参加) ・「災害時の食の備え」リーフレット(15,000部)を作成し、全市町村に配布。市町村を通じて、主に高齢者や乳幼児のいる家庭へ配布。 ・Ver.2への改定については、コロナ対応業務を優先し取り組めなかった。但し、未作成であった1町で「市町村災害時保健活動マニュアル」に栄養・食生活支援活動を盛り込めた。 ・「高知県大規模災害時における栄養支援チーム活動マニュアル」を改定し、関係機関にへ配布 ・災害時保健活動情報伝達訓練への参加(1月)		【成果と課題】 ・事例検討により、災害発生時の行政栄養士の対応を深めることができた。 ・Ver.2に対応した市町村保健活動マニュアルへの改定支援が必要。 【今後の取組】 ・災害に関する研修会の継続実施 ・市町村保健活動マニュアルの改定支援	

令和3年度 第3期高知県食育推進計画 進捗状況

		担当	【健康長寿政策課】			
第4節 食を育む環境づくり		計画冊子	P41～P44			
(1)食育に関する人材育成 (2)企業や関係団体などとの連携 (3)県民運動の推進						
【施策目標】(令和5年度) ・食生活改善推進員の数:1,800人維持 ・食育に関心を持っている県民の割合:95%以上			<H29>	<H30>	<R1>	<R2>
		ヘルスマイト数	1,742人	1,733人	1,651人	1,468人
【プロセス指標】(令和5年度) ・減塩プロジェクト参加企業数:40社 ・ヘルシー弁当等販売企業数:7社 ・食育月間の取組:40回 ・食育の日の取組:10回 ・やさいの日の取組:25回			<H29>	<H30>	<R1>	<R2>
		・減塩プロジェクト参加企業数	34社	34社	35社	35社
		・ヘルシー弁当等販売企業数	5社	5社	6社	6社
		・食育月間の取組	6回	8回	7回	37回
		・食育の日の取組	2回	1回	1回	8回
		・やさいの日の取組	18日	13回	14回	7回
【今年度の取組目標】 ・食生活改善推進員の養成教室の実施			直近の実績値 (R3年度)			
			・養成教室の実施 19市町村 修了予定者72名 ・減塩プロジェクト 35社 ・ヘルシー弁当販売 6社 ・「食育月間の取組」 50回 ・「食育の日の取組」 18回			
今年度の当初計画 (P)		今年度の取組状況 (D)		課題と今後の取組予定 (C・A)		
食育に関する人材育成	・食生活改善推進員養成講座の開催 (25市町村、目標養成数70人以上)	・ヘルスマイト養成講座は19市町村、72人が修了予定 ・食育推進に向けた効果的な栄養施策推進のため行政栄養士育成研修会を開催(3/3予定)		【成果と課題】 ・コロナの影響で養成が危ぶまれたが目標の人数を超える養成ができた。 【今後の取組】 ・ヘルスマイト養成講座の定期的開催 ・ヘルスマイトへの食育研修会等による育成 ・「高知県行政栄養士人材育成ガイドライン」に基づいた研修の継続実施		
企業等との連携	・高知家健康チャレンジ普及月間(11月)啓発プロモーションと連動した民間企業等の取組促進	・高知家健康チャレンジの官民協働の取組を促進するため、健康づくり団体を対象に ワークショップを開催(5/8) ・量販店と連動した取り組みを実施 プロモーションに合わせ、量販店の商品に野菜摂取を促すシールを貼付、ポップや特設コーナーの設置、販促チラシへの掲載		【成果と課題】 ・啓発効果を高めるため、企業や職域団体等とワークショップを開催し、連動した取り組みを促してきたが、自主的な企画実施を行う団体を拡大していくことが難しかった。 【今後の取組】 ・事業に参画する量販店等の売上げが上昇するような啓発の方法を模索し、連動した企画をさらに充実させていく。 ・コラボ企画等を拡充し、日常のタッチポイントとなる機会を活用し、県民の健康づくりを後押ししていく。		
県民運動の推進	・食育月間の取組(6月)、食育の日の取組(毎月19日)、やさいの日の取組(8月31日) ・効果的な実施に向けて、月間や食育の日、やさいの日に合わせた食育イベントの実施(野菜や野菜料理の展示、野菜のレシピ配布、野菜クイズ、啓発資料配付等) ・減塩プロジェクト参加企業への啓発資料の配布(9月) スマートライフプロジェクトと連動	・食育月間や食育の日に合わせたイベント開催(P14に掲載) ・減塩ポスターを作成し、減塩プロジェクト参加企業へ配布・掲示依頼(2月 429事業所、700部) ・第5波の影響で8～9月のスマートライフプロジェクトに連動した取組は実施できなかった。		【成果と課題】 ・食育月間、食育の日の周知が必要 【今後の取組】 ・食育月間、食育の日の広報 ・ポスター掲示については食生活改善普及月間に合わせた啓発をしていく		